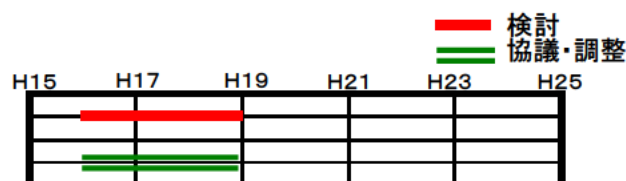


外来種対策について駆除方法を含めた検討

●具体的な整備内容

外来種の減少に向けた取り組みが必要であることから、外来種の駆除方法等について検討し、関係機関や住民及び住民団体等と連携しながら外来種対策を実施する。

●実施スケジュール



●整備効果

リリース禁止など条例が制定及び施行され、これに基づき駆除対策を実施することにより、外来種が減少する可能性があり、その結果、生態系の保全を図れる可能性がある。

●提案理由

現在の生態環境においては、在来種の減少、食物連鎖の変化など外来種による様々な生態系への影響が報告されている。このような状況の中、河川管理者としても健全な生態系を保持する必要があると考えており、そのためには、外来種の減少に向けた取り組みが必要であることから、関係機関と連携を図りつつ実施する。

●委員会等からの意見

「整備計画進捗状況報告」においては、「滋賀県との連携」のほかには、「文献調査」が挙げられているのみであり、またその内容も、またその結果いかなる対策を立てるかについての予備的な論議も、全く明示されておらず、これでは「整備計画進捗状況報告」にはならない。検討の結果を、早急に明らかにすべきである。【琵琶湖部会】

●進捗状況

【コイ科魚類捕食者の食性調査】

フナ類産着卵・仔魚を捕食する生物を抽出し、その捕食圧を把握する調査を実施。

【侵略的外来魚駆除の検討】

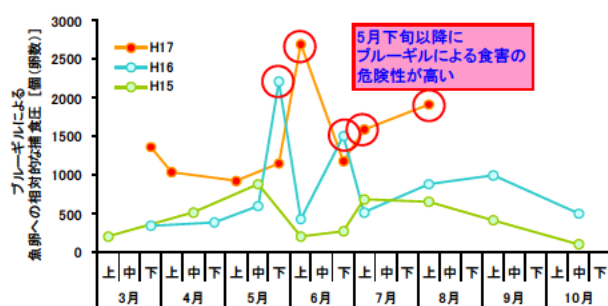
実験施設において、ブルーギル、オオクチバスの忌避・選好に関する実験を実施。

●今後の見通し等

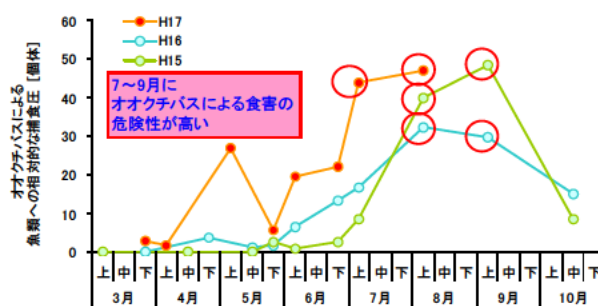
実験施設での実験の成果を基にフィールドでの効果を検証する。

●進捗状況(写真・図面)

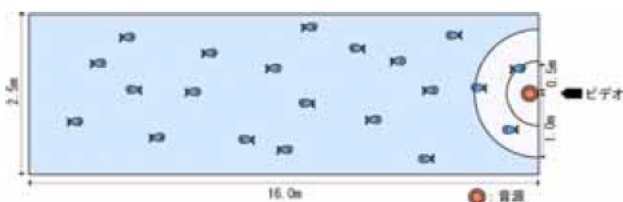
ブルーギルによる魚卵への捕食圧の季節変化



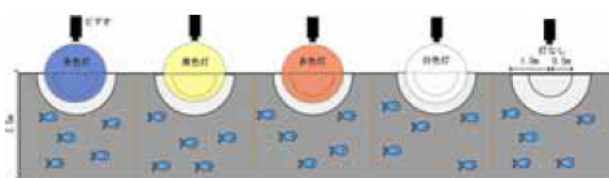
オオクチバスによる魚類への捕食圧の季節変化



捕食圧＝調査で採集された捕食者の個体数×捕食者1個体あたりの平均捕食数 (捕食者サイズ別に計算し合計)



音による忌避・選好実験



光による忌避・選好実験



堰による侵入防止実験

過去の調査結果は以下を参照。

第6回WG <http://www.biwakokasen.go.jp/others/specialistconference/wg/index6.html>



実験施設(Biyoセンター)
(L16m×B2.5m×H0.6m)